



# 「安易な法改正が破局へ」 「派遣法」から10年、労働者の何が守られたのか

て人が集まる。大きな都市にはそうした場所があり、必要なだけの労働力をそこで賄う仕組みです。東京・山谷の労働者たちは「あのビルもこの道路もわしたちが造ったものだ」と。でも不景気になれば仕事にあふれる。「ドヤ」と呼ばれた数百円で泊まれる宿は次々に閉鎖され、見かけ上はきれいな町になっていくが宿賃はひと桁跳ね上がり、路上の生活者が町にあふれることになりました。名古屋や大阪も同じです。公園や地下道での寝泊まりができないように、グリーン作戦が展開され、一代を支えてきた労働者は何の保障もなくゴミのように蹴散らされていきま

『労働者派遣法』が制定されて10年、不況対策の一つとして制定されたはずの派遣法は、あつと言う間に労働人口の三分の一を非正規労働者とし、今、膨大な人々が派遣切りの嵐に巻き込まれています。派遣法が制定された九九年『ゼロ金利政策』がとられ、ローンが組みやすくなり、夢の我が家などを手にした人は少なくないはず。戦後の復興は『労働基準法』や『労働組合法』などによって労働者の関係が約束され、様々な

が、必要だけの労働力をそこで賄う仕組みです。東京・山谷の労働者たちは「あのビルもこの道路もわしたちが造ったものだ」と。でも不景気になれば仕事にあふれる。「ドヤ」と呼ばれた数百円で泊まれる宿は次々に閉鎖され、見かけ上はきれいな町になっていくが宿賃はひと桁跳ね上がり、路上の生活者が町にあふれることになりました。名古屋や大阪も同じです。公園や地下道での寝泊まりができないように、グリーン作戦が展開され、一代を支えてきた労働者は何の保障もなくゴミのように蹴散らされていきま

戦後の復興は『労働基準法』や『労働組合法』などによって労働者の関係が約束され、様々な

が、必要だけの労働力をそこで賄う仕組みです。東京・山谷の労働者たちは「あのビルもこの道路もわしたちが造ったものだ」と。でも不景気になれば仕事にあふれる。「ドヤ」と呼ばれた数百円で泊まれる宿は次々に閉鎖され、見かけ上はきれいな町になっていくが宿賃はひと桁跳ね上がり、路上の生活者が町にあふれることになりました。名古屋や大阪も同じです。公園や地下道での寝泊まりができないように、グリーン作戦が展開され、一代を支えてきた労働者は何の保障もなくゴミのように蹴散らされていきま

## 戦争責任として アジアの国々との約束。 それが憲法九条

平川宗信

**日本国憲法 第9条**  
日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

私の後輩がひとり大阪の寄場で亡くなりました。時折、育ての親である祖父母に土産を持

## 伊勢崎賢治講演会

## 「日本の国際貢献に軍事はどこまで必要か」後編

前回まで

一、はじめに

二、人が大量虐殺されること

を防ぐための軍事

1 ルワンダ大虐殺

2 今日

3 シエラレオネ

4 いのちの価値

5 人権保護のための軍事行動

動についての伊勢崎氏の見解

6 中立ではない報道

三、世界レベルでの対テロ戦

1 アフガン

以下後編の要約です。

2 シエラレオネ

\*前回紹介していますが、改めて簡単に触れておきます。

①シエラレオネ小史

一八世紀終わりに、植民地統治国イギリスで奴隷制が廃

止され、奴隷たちは本国に帰

国しました。その時できた町

が首都フリータウンです。当

時創立した国立大は創立二百

年になります。シエラレオネ

は、アフリカでの西洋教育の

中心地の一つでした。

一九六一年、ついに、イギ

リスより独立します。しかし、

その後、腐敗と乱脈政治が続

き、一九七五年から現在まで

世界最貧国です。

そして、一九九〇年、クー

デターが起きました。隣国リ

ベリアが、シエラレオネ産ダ

イヤモンドに目をつけ、反政

府ゲリラを支援し、内戦に突

入しました。その後、クーデ

ターが繰り返され泥沼化しま

す。

一九九九年、アメリカ中心

の和平工作が進み、ロメ合意

が結ばれました。

②ロメ合意

反政府ゲリラ首謀者、およ

び全戦闘員すべての犯罪行為

を恩赦しました。首謀者は副

大統領に就任しました。反政

府ゲリラは、拉致した体力あ

る子どもを戦闘員にし、親

兄弟を殺させ、そうでない

子数千人の手足を切り落と

し、妊婦からは胎児を取り出

すなど、残虐行為をした組織

であったのにもかかわらず

す。

③一般的な和平

一般的には、和平は、国連

主導で行われます。また、戦

争犯罪は裁かれなければなら

ない、特に、首謀者は許さな

いというのが国際ルールで

す。

④ロメ合意の評価

国連主導では、ロメ合意は

ありえなかつたでしょう。非

国連主導だったからできたの

です。アメリカは、リベリア

など近隣国との政治的關係

や、キリスト教プロテスタン

トなど宗教組織を動かし、背

後に深く関わりました。

戦争は止めなければならな

いものです。その中で、長引

いた泥沼化した戦争の停戦は

大変困難です。しかし、これ

ほどの恩赦を認めてよかつた

のでしょうか。やはり、これ

は、過度の恩赦であつたと思

います。しかし、これは、平

和的解決という手段として起

きたことです。

このことは、日本ではほと

んど報道されませんでした。

人権団体も何も言いませんで

した。しかし、アメリカの人

権団体は、これが、戦争を止

めるための特効薬であること

は間違いない、しかし、ここ

まで許してしまったら、国際

的なモラルはどうなるのか、

と警戒感を示しました。

二〇〇七年のアフガニスタ

ン恩赦法にも、同様に、強い

警戒感を示しました。

長引いた国際紛争はいつ

も、法で裁くか、もしくはそ

れを犠牲にして和平、妥協し

て戦争を止めることを選ぶ

か、ということに直面します。

四、まとめ

紛争の平和的解決とは何か

1 長引いた国際紛争に、誰

もがハッピーになる平和的解

決はあるのか

私が、アフガニスタン問題で、国会に呼ばれて、自衛隊派遣より、タリバンとの和解をとという見解を述べた時、安易とも思える拍手に苦言を呈しました。それは、テロリストとの和解を意味するのです。彼らにひどい目にあつた人はたくさんいるのです。北朝鮮の拉致問題とも同じなのです。それは、拉致被害者家族の目の前で、金正日と握手するようなことです。単

純に拍手して喜ぶようなことではないのです。誰もがハッピーになる平和的解決があったら教えていただきたい。

## 2 紛争は儲かる、でいいのか

紛争が起きると、国際社会は、何らかの措置を行います。これを平和矯正といいます。通常ここで、国連なら、PKOとかを展開させます。軍事的介入をする。起きてしまった火を鎮火させるのです。ところがこれがアフリカで起きると、ほっとかれます。対処の時間には差があります。そうはいっても何らかの形で関わり努力がされます。そして、いったん火が鎮火したら建物などの復興が始まります。また火が起きないように、平和維持活動を行います。それが落ち着いてくると、平和構築に入ります。そして平和の定着となります。そうした、シナリオの元に、平和維持軍投

入、武装解除などを行っていくのです。武器を持つて争うのではなくて国会で民主主義の中で戦う国を作ることを進めていきます。

そのためにも、まず、武装を解除させなければならぬ。その過程で国軍、警察を作り、治安を維持しなければなりません。そして、司法ができ、法の支配が行われます。これが、国の重要なコアになります。暴力を国だけが独占できるようにするのです。それができて初めて、開発援助、行政基盤にかかれます。紛争が起きると、やるのがたくさん起きます。だから紛争が起きると儲かるのです。人道援助PKOもふくめてそうです。人道援助のニーズは、戦争が作り出すものなのです。戦争で成り立つ業界ができるのです。戦争は、被害者以外みんな儲かるのです。それでいいのでしょうか、それは仕方ないのでしょうか。

## 3 戦争予防が儲かるようにする知恵

### ①紛争予防業界が必要

私たちには、紛争が起こる前、という視点が落ちている。予防という事です。それは、予防は儲からないからです。ですから、これを儲かるようにしないではいけません。その知恵をみんなで集めようと思うのです。予防で儲かる業界を創らなければならぬのです。それが、僕の関心事です。戦争は、いったん起こってしまうと、僕のような悲しき共犯者が関わらないと止められなくなってしまう。平和的解決といっても、私が経験した限りそれは、モラルを犠牲にしなければならぬのです。どこかで妥協しなければならぬのです。やはり、紛争というのは、起こさないのがいいに決まっています。

### ②紛争予防業界を創るのは難しい

しかし、戦争を起こさない努力というのは、起きてしまった戦争を止める以上に大変です。それは、起きてしまった戦争にすら、人間は、関心を維持できないからです。みんな時とともに忘れてしまうのです。それを、戦争が起きていないのに、関心を維持し続けるのは大変なのです。ですから、予防が大事だというのはやさしいのですが、予防する業界を作り、維持するのは、紛争後の処理業界を創るよりはるかに難しいのです。

### ③紛争予防のために何をすべきか

予防のためにまず必要なことは、早期警戒でしょう。いろいろな不満がうっ積していることを、できるだけ早く発見し、警戒するのです。そして、対話を含め、それに対応をしていくのです。しかし、

これは、全然お金になりません。ですから、業界にならないのです。

貧困対策も対策の一つです。また、民主化も必要でしょう。シエラレオネは腐敗が紛争の原因となりました。

これらを総称して、予防的援助といいます。

日本は、すぐ、貧困対策が戦争予防になるといいます。しかし、実際にはそれはあまり役に立ちません。なぜかという、紛争が起きそうな国においては、そうした経済援助は、ほとんど百%悪用されます。もしくは、その悪政を助長させるために使われます。国際援助はそういう性格を持っています。悪い政権に余裕を持たせてしまいます。内部改革の芽を摘んでしまうことさえあるのです。そういう反省は日本の外ではしつかりあります。

④紛争予防のためにすべきこと  
 大事なのは、経済援助に条件をつけることです。そこで、内政干渉が問題となります。しかし、正の干渉と負の干渉というのがあります。言わなければならぬ時、正の干渉をすべき時があるのです。

この干渉は、影響力があるものがなければ意味がありません。中立的でないときできません。敵対国には絶対です。アメリカには絶対できません。これに適した国は日本以外ありません。それは九条があるからです。しかし、戦後、日本は、この干渉を見事にやってこなかったのです。日本がしてきたのは、ODA外交だけでした。

#### 4 紛争を予防する責任

紛争予防を、責任と捉えることができて初めて、自衛隊を派遣したいという勢力に勝てます。これを本気でやらないと、その勢力に勝てません。

ん。なぜなら、その勢力の方が、世の中の方がいいのです。意識調査で護憲の方が多かったというデータはまったく当てになりません。小泉さんのようなカリスマが一人現れたらころっと変わってしまいます。自衛隊はいのちをかけてサマワで活動しました。絶対こっちの方が若者に受けません。この対案はなされていません。私は自分たちのやったアフガンでの非武装解除がまさにその対案だったと思っ

たのですけれど、なぜか新聞は取り上げませんでした。政府もこのことを言いたがりません。税金を百億円使っているのですよ。とにかく、僕は、この予防を責任と考えて行動、実行するということを示したつもりです。これを証明しないと、自衛隊のいのちをかけてするというセクシーさに勝てないと思うのです。

#### 五、質疑応答

(問) 先生の使命感はどこからきているのですか。(S)

(答) あまり使命感らしきものはありませんが、収入と補償はちゃんと確認してから出かけてます。自分でも不思議でしたが、アフガンの武装解除をやった時に使命感らしきものが芽生えたことがありました。日本政府の代表で行ったのですが、アメリカにだまされてやらされたようなところがあったから、絶対に日本政府を失敗させないようになしようという愛国心のように、チームに、が芽生えましたね。サマワの自衛隊活動に対する対抗意識もありましたし、こちらの方が危ないですしね。

(問) 内政干渉できるのは九条のおかげというのはどういふことかもう少し詳しく説明してほしい。

(答) 紛争が起こる前の内政干渉は、二国間で行われるのがいいです。なぜかというところ、紛争が起こる前は、国連は何もできません。内政干渉になりますから。そこで影響力を持つ国は、多くの財政援助をしていて、いい関係を結んでいる国だけだからです。その点で日本が適任だと思えます。

具体的は何をするかという結構簡単です。軍事費に対して注意することです。国軍の予算が急激に増えていたり、少数民族への軍の駐留状況などに注意することです。それらに対しておかしなことがあったら、支援を止めるといったらいいのです。

(問) 日本の外交が、紛争予防に對して何もやってこなかったのはなぜだと思いますか。(N)

(答) 日本が予防の力をつけるためには十年、二十年かか

るでしょう。人づくりが必要だからです。外務省改革をしなくてはなりません。縦割り行政も打破しなくてはなりません。戦時中のイメージからか、諜報活動には負のイメージが強く、人気がなく、人づくりはうまくいっていないのが実情です。しかし武力に頼らないのなら、知力に頼れないではないですか。そこには予算が必要ですね。そうするとお金がかかると言っ

て、世論もついてこないです。しかし、自衛隊を送りたくないなら、それをやらなくてははいけません。

(問) 戦争を本当に止められると信じておられるのでしょうか。またNGOはどれくらい力があるのでしょうか。

(答) 戦争がなくなるということはいえ、私の生きていく世代、孫の世代でも難しいかもしれないと思っ

うちに、少しでも、目鼻をつきたいと思っています。そういう意味でも、抽象的理想論には余り興味はありません。九条というのは、起きてしまった戦争を短期間で収束させる力があると思います。そこに唯一の望みをかけて、取り組んでいます。これは、日本の国益として防衛力にもなると思っています。

NGOは力を持っていません。各国政府や国連さえも動かしています。しかし、日本のNGOは苦勞しています。特に経済的に。日本人は、寄付文化ではないから、民間に、お金を下さないので。そうすると、公的資金に頼ることになります。それは、日の丸を背負うことになってしまいます。それでは、政府に口を出せず、NGOではなく

(文責 永井一匡)

## 権力を超えたものとしての普遍法

平川宗信さんの講義を聴いて

久しぶりに京都に行き、貴重な体験をしました。「真宗大谷派9条の会」が主催する1泊2日の研修会。講師は刑法学者の平川宗信さん・東京大学の法学部教授で名古屋大学の名誉教授でもある。報道被害者支援ネットワークや死刑廃止のフォーラムなどに関わっている。私の役割は問題提起者ということでしたので、休憩時間も同室、24時間態勢の研修会みたくなかつた。うになりましたが、それだけに考えさせられることの多い2日間でもありました。

とです。それに対して「法治国家」という使い方があるといいです。戦前のドイツで多用された手法で、「法律を作ればいい」という考え方で、権力者に都合の良い法律を作り「出来た法律に従え」というやり方だそうですね。この10年のやり方を見ていると、まさにそのやり方だと思えるのですが、少なくとも現憲法下では、法の支配(自然法)にそぐうものでなければならぬと言います。つまり、①国民主権②基本的人権③平和主義、という基本理念にそぐうものでなければならぬというのです。

久しぶりに京都に行き、貴重な体験をしました。「真宗大谷派9条の会」が主催する1泊2日の研修会。講師は刑法学者の平川宗信さん・東京大学の法学部教授で名古屋大学の名誉教授でもある。報道被害者支援ネットワークや死刑廃止のフォーラムなどに関わっている。私の役割は問題提起者ということでしたので、休憩時間も同室、24時間態勢の研修会みたくなかつた。うになりましたが、それだけに考えさせられることの多い2日間でもありました。

「憲法」という概念。近代憲法がヨーロッパ発(ドイツ)であることは知っていたが、「憲法」とか「責任」という言葉の概念が、「日本文化の中でほとんど深められないまま、定義がしっかりと定められずに都合の良いように解釈され行使されている」と指摘されました。憲法の意味は「国家統治組織を基礎づける基本法」という。その程度は考えたことがあります。その背後に長い歴史の中で培われた、しきたりや慣習が《クニのかたち》としてあり、それを踏まえた上での「法の支配」といいます。性格としては《自然法》で、自然法を文字で著したものが実定法であり、それが現代の立憲主義だといえます。解ったようでわかりにくいのでありますが、要は「権力を超えたものとしての普遍法(自然法)がある」という認識、「人間の尊厳」という普遍的な原理が底を支えるものとしてあらねばならないということから「違法」というのでなく、戦争は犯罪であるという概念に結びつくものとしてある。

2日間で聞いたばかりの指摘。まったく不消化でありませんが、選挙のために作られた政府の約束を実現するための法律が後付けされたり、海賊対策のためということ、何が何でも自衛隊を派遣するなど、現実には「法律を作ればいい」ということが何のためらいもなく行われています。無宗教と呼ばれる時代、政府も企業人も、国民も批判原理を持ってないまま、現実対応に追われ、結果として国民がそのしわ寄せを喰らうという今、「法治国家」という言葉ですべてを支配される前に、憲法とは何なのか、そしてそれを支える《クニのかたち》を考えてみたいものだ。

(日野詢城)



### 講演会の予告

講師 河野義行さん  
 講題 松本サリン事件から15年・・・(仮)  
 テーマ 殺す事なかれ  
 日時 5月18日(月曜)・午後1時から4時  
 会場 大分市・オアシス21「音の泉ホール」

会費・カンパ どうも ありがとうございます。

横川香正・清原えつ子・金山道玄・菅野俊光・藤谷知道  
 長久寺・藤村憲雄・宮岳文隆・黒野光治・小峰恭丸  
 木津英展・藤村暢・小出昭幸・日野凡記・西福寺  
 速入健夫・荷宮正子・掛橋泰定・佐藤福子・木内隆頭  
 藤田宏紀・永徳光明・岩尾豊文・藤塚通磨・菊池紀雄  
 河野通成・上野義典・丸小野邦彦・廣次忠彦・日高幸男  
 帆足一洋・廣瀬邦昭・友成真子・安養寺・野口春夫  
 松林暁子・井上善文・煤山正樹・古谷聡・広次忠彦  
 田口次郎・日野詢城・津垣慶哉・西郡均・松下和義  
 松屋寺・清原彰円・村上由香思・河野光男・藤井邦磨  
 尼子芳淳・高藤英利・飯田幸子・提栄三・石光順照  
 渡辺睦夫・原高節・小栗栖法秀・加藤秀嶺(敬称略)

世話人(◎代表者)

- 無着成恭 曹洞宗 泉福寺
- 酒迎天信 日本山 妙法寺
- ◎日野詢城 大谷派 見成寺
- 林 正道 大谷派 安養寺
- 西郡 均 本願寺派 誓岸寺
- 古谷 聡 大谷派 蓮照寺
- 佐々木淳二 大分メソヂストン教
- 掛橋泰定 日蓮宗 妙栄寺
- 大在 紀 本願寺派 長光寺

だど確信しています」と力強く語っていました。講演の後、眠れない夜があると言っていた。戦争による精神的後遺症(PTSD)は彼を苦しめ続けていたのだ。そんな時「もう語りたくない」とも言っていました。昨年の秋、闘病中という連絡がきました。キング牧師にあこがれ、私たちにキング牧師の心を伝えてくれた大切なメッセージでもありました。講演会ではなく彼のブルースのコンサートをといて淡い望みは消えましたが、彼の死を大切に心に刻みたいものだと思います。(詢)

### 年会費納入・カンパを

よろしくお願ひします。

3月28日「毎日新聞」掲載記事

NYの平和運動家  
 ネルソンさん死去

ベトナム  
 戦争の従軍  
 体験を基に  
 戦争の悲惨さを日本各  
 地で講演し、多発性骨  
 髄腫で闘病中だった米  
 ニューヨーク市在住の  
 平和運動家、アレン・  
 ネルソンさん(66)が26  
 日午前(現地時間25日  
 午後)、市内の病院で  
 亡くなった。

米国の保険制度では  
 治療費負担が多額にな



るため、講演に招いて  
 いた関西などの市民グ  
 ループがカンパを呼び  
 かけていた。

ネルソンさんは18歳  
 で海兵隊に入隊し、ベ  
 トナムで約1年従軍し  
 た。95年の米兵による  
 沖縄少女暴行事件をき  
 っかけに、沖縄の米軍  
 基地撤去や平和の大切  
 さを語る活動を始め、  
 毎年来日。年間100  
 回程度講演していた。

カンパを募った「ア  
 レンネルソン・ネット  
 ワーク」世話人代表の

平塚淳次郎さん(74)は「今  
 兵庫県宝塚市」は「今  
 月初め、激励の手紙な  
 どを持って見舞いに行  
 くと、精いっぱいの方  
 顔でありがどう、と言  
 っていた。残念で言葉  
 もない」と話した。

編集後記  
 ネルソンさ  
 んは「戦争  
 から生まれ出るもの  
 は新たな戦争でしか  
 なく、戦争から平和  
 が生まれることなど  
 けっしてありえない  
 ことだと気づいても  
 らうことだ」と語り、  
 「世界中の国々がこの  
 第9条を共有すべき

### 『今を語ろう』連続談義

この学習会は、公開討論会の形を取りま  
すので多数の参加者を募集し、自由な意見交  
換を求めます。

第十二回 4月14日(火)2時より

テーマ 人はなぜカルトに陥るのか

コメンテーター 藤谷知道さん

会場 願西寺 大分市今津留2-10-29

電話 097-558-8430

### 宗教者9条の会・大分 事務局

〒879-5102

由布市湯布院町川上 3561

見成寺

TEL 0977-84-2257

FAX 0977-84-5203

年会費 3,000円

郵便振替口座 01720-1-111731